

業績表

受験者氏名 文京 太郎

以下の学会発表又は学術論文のいずれかの業績を有すること。

学会発表

本会学術集会において筆頭者として1回以上の発表実績を有すること。あるいは、本会地方会学術集会において筆頭者として2回以上の発表実績を有すること(ただし、内容が重複していないこと)。

学術論文

本会が発行している和文誌「超音波医学」又は英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」に、筆頭者又はcorresponding authorとして、論文1編以上の掲載実績を有すること。なお、論文の種類は問わない(Letter to the Editor や依頼原稿(総説・特集・解説等)も含む)。

2024年3月31日までに、「本会学術集会・本会地方会学術集会にて発表済みの発表実績」又は「公開済み(オンラインファースト含む)の論文」であること。

1. 下表に必要事項を記載すること。
2. 業績を証明する抄録・論文に、下表の番号を明記し、A4サイズで提出すること(拡大等不要)。
3. 業績を証明する抄録・論文中の著者氏名(申請者氏名)に、マーカーを付すこと。
4. 本会地方会学術集会における2回の発表実績を提出される方のみ、下表の2つの欄を使用すること。これ以外の方は、下表の番号1の欄のみ使用し、業績を1つ提出すること。

| | |
|---|--|
| 1 | 題名 [<input type="checkbox"/> 学会発表 <input checked="" type="checkbox"/> 論文] |
| | 閉鎖性黄疸における超音波診断法の意義 |
| | 集会名 開催 年 月 または 超音波医学 雑誌名 ●● 卷 ●● 号 発行 ～～ 年 ～ 月 |
| 2 | 題名 [<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文] |
| | 集会名 開催 年 月 または 雑誌名 卷 号 発行 年 月 |